

山形県医療的ケア児等支援センター事業説明

山形県における医療的ケア児の現状と これからの取り組み

山形県医療的ケア児等支援センター
山形大学医学部附属病院 小児科

中村 和幸

山形県医療的ケア児等支援センター記者発表 2022/7/1

本日の内容

- ◎医療的ケア児をとりまく背景
- ◎これまでの山形県での取り組み
 - ・小児科主治医同行訪問
 - ・人材育成
 - ・災害対策について
- ◎これからの山形県医療的ケア児等支援センターの取り組み

医療的ケア児の背景

医療的ケア児とは？【医療的ケア児支援法 第2条】

日常生活及び社会生活を営むために恒常的に医療的ケア（人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引その他の医療行為）を受けることが不可欠である児童



気管切開と
気管カニューレ



人工呼吸器



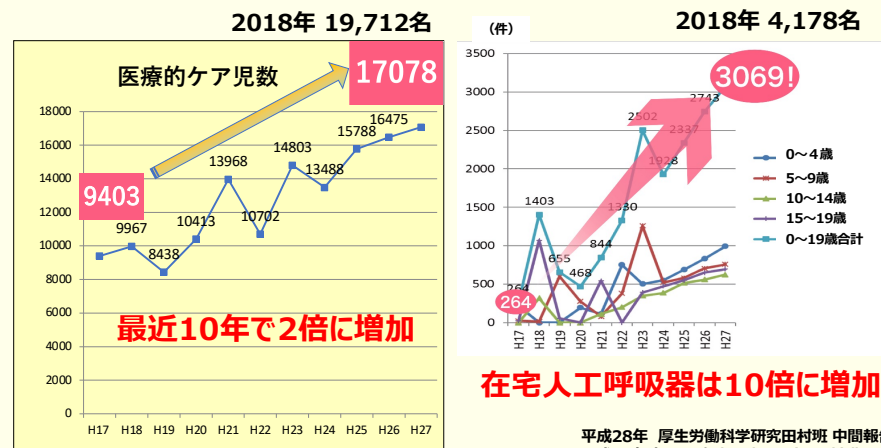
胃瘻チューブ

竹本潔, 梶原厚子: 令和3年度 小児在宅医療に関する人材講習会

医療的ケア児の背景

医療的ケア児とは？

医学の進歩を背景として、NICU等に長期入院した後、引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な障害児（厚生労働省）



小児在宅医療の特徴

1. 対象者が少なく広域に分布（埼玉県では人口720万人中702人）
2. 病状が成人とは全く異なる
3. NICUやPICU出身者が多く、医療依存度及び重症度が高い
4. 高度医療機関からの直接退院が多い
5. 小児在宅医療の患者は多くが病院主治医を持っている
病院主治医がケアマネジメントしていることが多い
→緊急時の安全面
→しかし病院医は患者家族の生活や福祉制度に疎い
6. 在宅医、訪問看護師、介護士、訪問リハビリのいずれの職種も重症小児には慣れておられない
7. 体格も含めて患者の個性が多い
→医療材料の支給が経済的にも大変
8. 患者の成長・発達・療育・教育の視点が必要
9. 特別支援教育との関わりや行政との関わりが重要

家族の介護負担が大きい
(特に母親に集中)



ケアマネージャーがない

田村正徳:令和3年度 小児在宅医療に関する人材講習会

医療的ケア児支援センターの設置

医療的ケア児支援法 第三章 第十四 ~ 十八条

対象：医療的ケア児，
18歳以上（高等学校卒業後）も医療的ケアを受ける者

- ・医療、福祉、教育関係機関への情報提供、連絡調整、研修を行う
- ・身近な場所において必要な支援を受けられるよう適切な配慮をする
→地域で格差なく制度や相談を受けられるように
- ・18歳以降も適切な医療福祉サービスを切れ目なく受けられるように

◎ 山形県医療的ケア児等支援センター
(山形大学医学部附属病院へ委託)
社会福祉士 1名(専任)
事務員 1名(専任)
医師 1名(兼任)

2021年6月11日 9月施行

「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」
(医療的ケア児支援法)

【基本理念】第3条

医療的ケア児及びその家族に対する支援は医療的ケア児の日常生活及び社会生活を**社会全体で支える**

・**居住する地域に関わらず**等しく適切な支援を受けられるようにする。

【目的】第1条

・医療的ケア児を子育てする家族の負担を軽減し、医療的ケア児の**健やかな成長**を図るとともに、その**家族の離職を防止する**

→ 保護者の付き添いがなくてもよいように学校への看護師や介護福祉士、その他の者を配置（第7,10条）

→ 保育、教育、放課後デイなどでの支援拡充（第6,9条）

【地方公共団体の責務】第五条

厚生労働省HP
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/shougaisihakukushi/service/index_00004.html

山形県の医療的ケア児支援の経緯

『山形県医療的ケア児支援会議』の設置

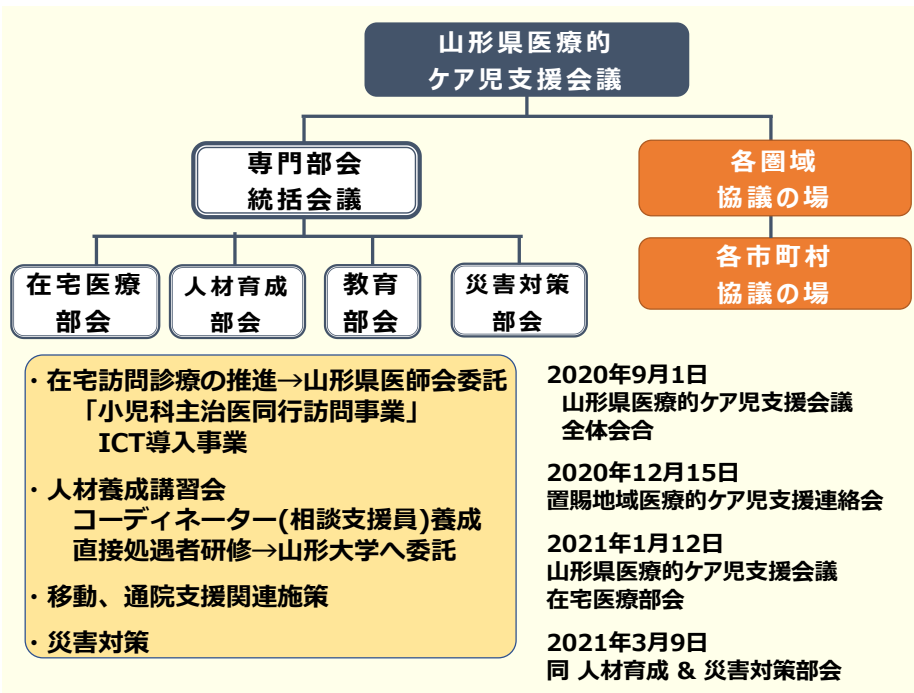
2019年2月、医療、福祉、教育、保育等が連携して医療的ケア児の支援等について協議を行う『**山形県医療的ケア児支援会議**』設置

【支援会議構成団体】

分野	機関
保健・医療	山形県医師会
	山形県小児科医会
	山形県歯科医師会
	山形県看護協会
	山形県薬剤師会
	国立病院機構山形病院
	山形県立中央病院
	山形県立こども医療教育センター
	山形大学医学部
山形県立保健医療大学	

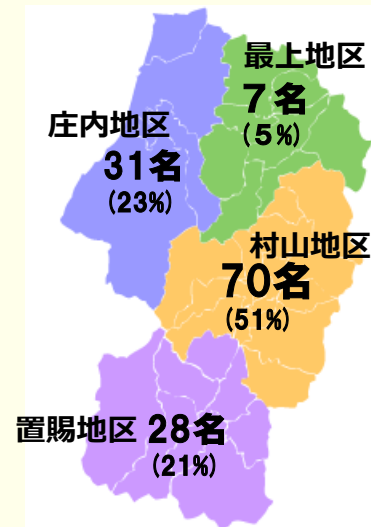


分野	機関
障がい福祉	山形県相談支援専門員協会
保育・教育	山形県保育協議会
	山形県特別支援学校長会
障がい児団体	山形県医療的ケア児者・重症児者の会
	山形県子育て推進部
行政	山形県健康福祉部
	山形県教育庁
	各総合支庁保健福祉環境部



山形県内の医療的ケア児の現状 (2019年調査)

市町村への調査 県内合計 **136名**



通院している病院を介したアンケート調査 (0~18歳) **96名**

【問題点】

- ・移動支援 (通院, 通学)
一人で運転とケアをしながら移動することは大変

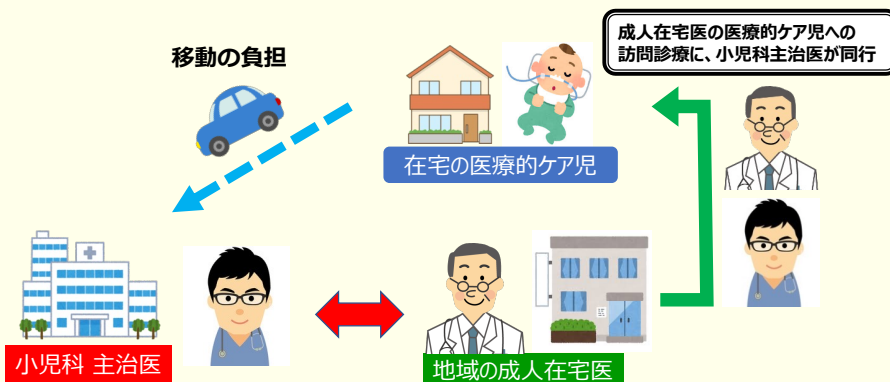


- ・人材養成
看護師, コーディネーター
- ・レスパイト

令和元年度 医療的ケア児支援施策

小児在宅・訪問診療の充実

医療的ケア児の通院に係る負担軽減を図るため、小児訪問診療医を養成
地域の成人在宅医とともに小児科主治医が導入時期に同行する



主治医同行訪問

柴田内科循環器科クリニック 柴田医師の訪問診療に同行



やまがた訪問診療クリニック
奥山医師と同行

ご家族の受け入れは良好
今後も利用したいとご希望

写真の掲載について同意を得ております

バイタルリンクを用いた多職種での情報共有

訪問医とご家族のやりとり
訪問診療予定です。必要物品、残薬日数を教えて下さい。
既読 3/6人 2020/07/27(月) 20:39

ご家族からてんかん発作の報告
既読 5/6人 2020/07/23(水) 10:14

学校のケア見 母
既読 5/6人 2020/07/27(月) 15:43

医療的ケア指示書 学校と病院主治医との医ケア指示書のやりとり
医療的ケアの実施に当たり、主治医より「主治医意見書・看護師への医療的ケア指示書」をいただいておりますので添付します。この文書は、年度始めの手続きが迅速に進むように、2月にいただいたものです。この指示書を受けて、個別の実施マニュアルを作成しています。
既読 6/6人 2020/07/22(水) 07:50

既読 (5/6人)

- 医療的ケア見 母
- 柴田内科循環器科クリニック
- 柴田内科循環器科クリニック
- 福岡特別支援学校
- 土屋薬局
- 訪問看護ステーションむらやま
- 山形大学医学部 小児科

・家族
・在宅医
・かかりつけ薬局
・訪問看護ステーション
・病院主治医
・特別支援学校
今後は相談支援員も

文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム 「重症児の在宅支援を担う医師等要請」 2014～2018年度

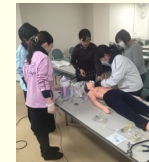
- ☆ 講義 (全9回 医学・福祉)
 - ・第1,2期 : スクール形式 (テレビ会議配信)
 - ・第3期 : e-learning

☆ 確認テスト

☆ 医療的ケア・BLS実習



2019年度～
山形県から
山形大学へ業務委託



人材養成事業

山形県医療的ケア児直接処遇者研修 2019年度～ 山形県から山形大学へ委託事業

医療的ケアの実践・緊急対応研修会

2020年3月 中止 (山形ビッグウイング)
2020年6月 山形大学医学部

～出張型研修会 (事業所)～

2020年11月 寒河江市 児発・放デイ
2020年11月 米沢市 訪問看護ST
2021年10月 寒河江市 児発・放デイ
2022年5月 新庄養護学校



災害対策事業

- ・小児周産期リエゾンと医ケア児支援会議災害対策部会の協働
- ・災害時個別支援計画の作成 (圏域保健所, 市町村) →避難訓練の実施



バイタルリンクを連絡手段として活用 (R3年度予算化)

NHK山形より

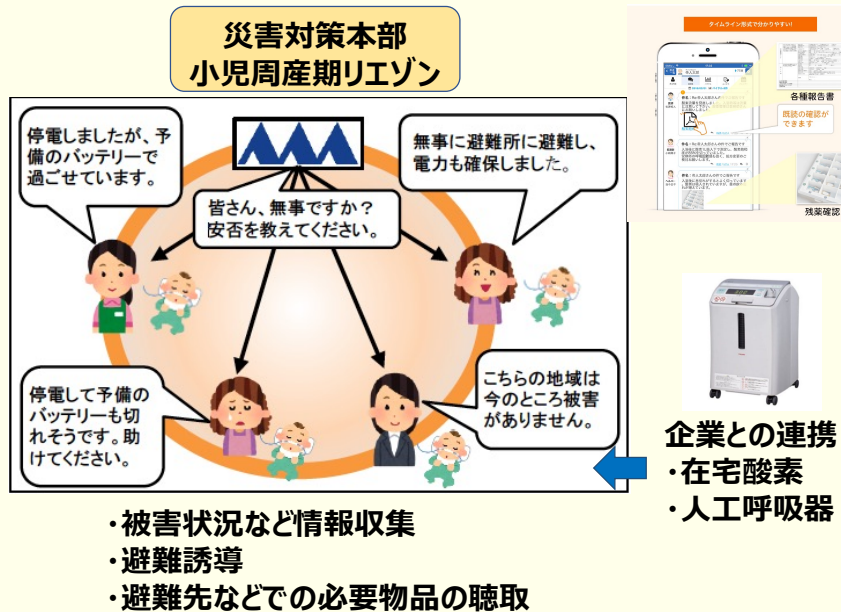
写真	氏名	管理機関	利用機関	施設	診療科	職種	電話番号	メールアドレス	活動状況
	ai01	障児なし	スタッフ	医療的ケア実習					活動
	mcc0187	障児なし	スタッフ	医療的ケア実習					活動
	u020	障児なし	スタッフ	医療的ケア実習					活動
	mcc0030	障児なし	スタッフ	医療的ケア実習					活動
	h0009	障児なし	スタッフ	医療的ケア実習					活動
	mcc0009	障児なし	スタッフ	医療的ケア実習					活動
	u001	障児なし	スタッフ	医療的ケア実習					活動
	mcc0487	障児なし	スタッフ	医療的ケア実習					活動
	u026	障児なし	スタッフ	医療的ケア実習					活動
	mcc0134	障児なし	スタッフ	医療的ケア実習					活動
	u003	障児なし	スタッフ	医療的ケア実習					活動
	mcc0083	障児なし	スタッフ	医療的ケア実習					活動
	u024	障児なし	スタッフ	医療的ケア実習					活動
	mcc014	障児なし	スタッフ	医療的ケア実習					活動
	h0011	障児なし	スタッフ	医療的ケア実習					活動
	mcc0011	障児なし	スタッフ	医療的ケア実習					活動
	u001	障児なし	スタッフ	医療的ケア実習					活動
	mcc001	障児なし	スタッフ	医療的ケア実習					活動

・医ケア児の全数把握
・バイタルリンク^R登録



・平時における情報共有
・災害時の連絡手段

山形県における災害対策のネットワーク作り



山形県医療的ケア児等支援センターの取り組み

相談・支援

お子さんとそのご家族
関係機関向けの相談
窓口を設置します。

行政や教育機関などと
連携して、保育・教育
などの体制整備を支援
します。

人材養成

訪問看護ステーションや
通所施設、園や学校
などのスタッフに対する
講演会や研修会の
企画・運営を行います

情報集約・共有

県内在住の医療的
ケア児の全数を把握し
ニーズ調査を行い、
必要な支援が災害時
を含め、行き届くよう
情報を収集します

山形県医療的ケア児等支援センターの取り組み

相談・支援

人材養成

情報集約・共有

◎相談例

- 【学校】 ・（特別支援学校に）通学している子が気管切開を行った。
初めてのケースであり対応が心配
→学校看護師、教職員への実技、緊急時対応研修会を行います
- 【園】 ・保育園で医療的ケア児を受け入れたいが、どのように準備を進めたら
良いかわからない
→園での体制整備の助言、スタッフへの技術研修会を行います
- 【家族】 ・通院が大変なので訪問診療を利用したい
- 【家族】 ・レスパイト、短期入所を利用したい
→利用するための準備や調整をお手伝いします
- 【行政】 ・人工呼吸器をしている方の災害時個別支援計画を作成したい
→会議に出席して助言を行います

まとめ

- 山形県医療的ケア児等支援センターが
山形大学医学部附属病院に設置されました。
- 医療的ケア児支援法の理念のもとに、医療的ケア児と家族を一つの“**地域共生社会**”の在り方として支援します。
- 医療的ケア児に関わる多機関・多職種をつなげ、
人材養成事業を通して、**支援者の支援**や地域づくりに
貢献していきます。